

磯子区青少年の地域活動拠点
運営団体選定結果報告書

令和4年2月

1 選定方法

(1) 手順

ア 選定にあたり、磯子区青少年の地域活動拠点運営団体選定にかかる検討会（以下、「検討会」という。）において、応募団体から提出された応募書類及びヒアリングを基に、各委員が各団体の意見書を作成しました。

イ 磯子区青少年の地域活動拠点運営団体選定評価委員会（以下、「選定評価委員会」という。）において、応募書類及び検討会各委員の意見書を参考に、選定評価基準に沿って、応募団体を評価しました。なお、評価は、各委員 100 点満点の計 500 点満点とし、最低基準を 300 点としました。

ウ 選定評価委員会の評価を基に、運営団体を選定しました。

(2) 検討会 委員（50 音順）

小川 江一	磯子区青少年指導員協議会会長
中島 裕見子	磯子区民生委員・児童委員協議会主任児童委員代表
福田 幸男	横浜国立大学名誉教授
三上 勇夫	磯子区連合町内会長会長
水谷 裕子	NPO法人アーモンドコミュニティネットワーク理事長

(3) 選定評価委員会 委員（役職）

磯子区副区長

磯子区総務課長

磯子区地域振興課長

磯子区こども家庭支援課学校連携・こども担当課長

こども青少年局青少年育成課長

2 選定結果

(1) 応募団体

1 団体（特定非営利活動法人コロンブスアカデミー）から応募がありました。

(2) 評価

(※配点及び応募団体の採点欄は、選定評価委員会の委員5人全員の合算点です。)

評価項目		配点	応募団体の採点
基本方針	(1) 青少年の健全育成や困難を抱える若者の自立支援への取組の考え方について	25	19
	(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	50	34
事業実施計画	(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	75	63
	(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	75	60
	(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	75	54
	(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワーク及び人材育成	75	51
	(5) その他(保護者へのアプローチや磯子区の特性・課題を踏まえた事業の実施等)	75	45
事業運営	(1) 収支計画について	25	17
	(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	25	16
合計点数		500	359

3 選定評価委員会における主な意見

- ・法人の強みを活かした取り組みはできています。今後さらに青少年が地域で活動するきっかけづくりをして欲しいと思います。
- ・実施計画ですが、現在取り組んでいることの説明が主となっていました。今後5年間の取り組みについて法人の強みを活かした説明をもっとして欲しいかったです。
- ・5年間の取組の蓄積から、運営を任せていく安心感があります。スタッフへの研修をしっかり行い、人材育成にさらに力を入れて欲しいと思います。また、広報活動や企業等との連携にも力を入れて取り組んでいくことを期待します。

4 主な選定スケジュール

時期	経過項目
令和3年12月21日(火)～令和4年1月21日(金)	公募期間(申請の受付)
令和3年12月21日(火)～令和4年1月5日(水)	質問の受付
令和4年2月9日(水)	選定にかかる検討会開催
令和4年2月9日(水)	選定評価委員会開催

(参考：選定評価基準)

評価項目	審査の視点	配点
1 基本方針		15
(1) 青少年の健全育成や困難を抱える若者の自立支援への取組の考え方について	・「横浜市中期4か年計画」政策29「子ども・若者を社会全体で育むまち」や「横浜市子ども子育て支援事業計画」の基本施策②「学齢期から青年期までの子ども・青少年の育成施策の推進」を踏まえた事業計画になっているか。	5
(2) 事業実施期間5年間の目標と計画方針について	・期間中の具体的な達成目標とその計画方針が示されており、実現性があるか。	10
2 事業実施計画		75
(1) 中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供	・青少年が気軽に集い、自由に活動する場の提供について、取組内容が具体的に示されており、実現性があるか。	15
(2) 中・高校生世代を中心とした青少年が、仲間や多世代と交流する機会の提供	・青少年が仲間や多世代と交流する機会の提供について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
(3) 中・高校生世代を中心とした青少年を対象とした、地域資源を活用した社会参加プログラムの実施	・地域資源を活用した社会参加プログラムの実施について、具体的に示されており、実現性があるか。あわせて地域の様々な団体との連携が見込めるか。	15
(4) 青少年育成に取り組む地域団体・機関及び支援者との情報交流やネットワーク及び人材育成	・地域の様々な団体・機関・施設との交流や連携、人材の育成事業の企画について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
(5) その他(保護者へのアプローチや磯子区の特性・課題を踏まえた事業の実施等)	・保護者向け事業の企画や広報活動、その他の磯子区の特性・課題を踏まえた提案事業について、具体的に示されており、実現性があるか。	15
3 事業運営		10
(1) 収支計画について	・利用者負担の考え方を含めて、合理的な収支計画が示されており、応募団体の提案する補助金額が適正であるか。	5
(2) 人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みについて	・人材育成、苦情処理、個人情報保護、事故防止への対応に関する取組みが具体的に示されているか。	5
	合計	100